

# ばわわ 11号

## ばわわとは?

- ば** 天白を元気にする**カ(パワー)**
- わ** 地域をつなげる**心(わ)**と**和める(わ)**たまり場づくり

そんな思いがひとつになって  
**ばわわ**と名づけました!

発行 社会福祉法人名古屋市天白区社会福祉協議会  
情報紙「ばわわ」プロジェクト  
〒468-0015 名古屋市天白区原一丁目301  
原ターミナルビル3階  
TEL:052-809-5550 FAX:052-809-5551  
E-mail:tenpakuVC@nagoya-shakyo.or.jp  
http://www.tenpaku-shakyo.com

編集 有限会社 リベルタ  
〒468-0011 名古屋市天白区平針2-1111 A2ビル207号  
TEL:052-808-0429 FAX:052-808-0421  
E-mail:libertad@mbp.nifty.com

情報紙「ばわわ」へのご意見、ご感想も  
はがき・FAX・メールにて受け付けています。

視覚障害その他の理由で活字のままでも読むことの困難な人のために、意図を目的とする場合を除き「録音図書」「点字図書」「拡大図書」等の製作をすることを認めます。



## 高齢者のための

# 安全なわが家づくり

## をサポート

木枯らしの吹く季節になりました。  
寒い冬には暖かなわが家が待ち遠しいですね。  
今号は「住」をテーマにお届けします。

活動が認められ、内閣府主催  
「防災まちづくりフォーラム」で  
最優秀賞を受賞しました

わがやネット  
児玉道子さん



これに安心して  
眠れるね!!

高齢になっても、あるいは障害があっても安心して自宅で過ごせるように、手すりや家具の転倒防止器具の設置などを行っている「わがやネット」代表の児玉道子さんにお話をうかがいました。

65才以上の高齢者のうち、家庭内で起こる事故で亡くなる人が、交通事故で亡くなる人よりも多いそうです。本来なら安心して暮らせるはずのわが家—そこで悲しい事故が起こらないように、福祉の面から住環境の整備を行っているのが「わがやネット」です。天白区平針北学区をはじめ、これまでに県内200件の高齢者宅で、家具転倒防止のための施工を行ってきました。

### 福祉・医療と建築を結ぶ「福祉住環境コーディネーター」

建築の分野でキャリアを積んできた代表の児玉さんは、ある高齢者施設を訪れたことから、福祉の領域に目を向けるようになりました。「その高齢者施設は、とても閉鎖的な空間で、認知症のフロアには鉄の扉がありました。『ここを開けて』と認知症のお年寄りが扉

をたたく音が、今でも耳に残っています」とそのときの印象を語る児玉さん。その後、福祉住環境コーディネーターの資格を取得。建築の専門家としての立場から、高齢者や障害者が住みやすい住環境の提案を、福祉・医療・行政のそれぞれの関係者と協働して行っています。

### 住みやすいわが家づくりから、住みやすいまちづくりへ

「家具の下敷きになって死ぬのか…」ある高齢者から聞いたこの言葉がきっかけで、名城大学と合同での家具転倒防止器具の取り付け活動がはじまりました。「わがやネット」では、取り付け部隊として「かぐてんぼう隊」を組織。隊員には学生や社会人だけでなく、生き甲斐を求めて志願した定年退職者も含まれています。このように、様々な世代がひとつの活動を通じて地域社会に働きかけることで、住民主体の住みやすいまちづくりを目指しています。住みやすいまちづくりの歩は安全なわが家づくりから。その歩を「わがやネット」はしっかりとサポートしています。

### お知らせ

「わがやネット」では、「かぐてんぼう隊」養成研修を行っています。詳しくはお問合せください。  
わがやネット  
FAX:836-6860 <http://www.wagaya.net>



ここは昭和30年代に撮影された天白区内のある場所です。さあ、どこか分かるかな? 答えはp.3です。  
(出典:天白区10周年記念誌「太陽とみどりのまち天白」)



## 新しく太白に転入された奥様に、 趣味の活動を広げたい奥様に「茶メロカン」を!

ハウジングリサーチ 茶メロカン編集室 オヤマ カヨコ 小山加世子さん

住宅・不動産会社「ハウジングリサーチ」が毎月1回発行している情報紙「茶メロカン」をご存じですか? 表面はリフォームや耐震などの住宅に関する情報、裏面は地域の趣味の教室や子育てサークルの広告、お料理レシピなどを掲載。平針南・平針・植田学区を中心に配布されています。

現在紙面を制作しているのは、元イラストレーターの小山さん。20年前に「茶メロカン」が創刊されて以来の読者でしたが、10年前から自ら制作に携わるようになりました。インテリアコーディネーターとしての業務のかたわら、都築社長の編集のもと、温かみのある文字で丁寧に手書きをしています。名物コーナーの「お茶目クッキング・リレー」では、主婦が家庭の味を紹介。次号はそのお友だちが…というように主婦の輪は広がり、今では124人分のレシピが集まりました。掲載前には、小山さんら女性スタッフが実際に調理して試食するという念の入れようです。

茶メロカン制作5代目「お茶目リカ子」の小山さん(左)と都築社長

「茶メロカンとはアメリカン(薄いコーヒー)の番茶版。20年前の既婚女性って出がらし番茶のイメージだったんです」とユーモラスに説明する小山さん。結婚によって社会との接点が少なくなってきた女性にも、活動の場を広げてもらいたいと、主婦がはじめた趣味の教室やサークルの広告を無料で掲載しています。「ハウジングリサーチ」と

いう社名は知らなくても、「茶メロカン」の認知度は抜群のようで、広告の反響も上々のようです。「地域への恩返しのためにも発行しています」と語る都築社長。「地域に密着した情報を提供し、地域のつながりを作っていくことが目標。そのきっかけとして茶メロカンを活用していただけたら」と小山さんの夢は広がります。こんな想いの方々に支えられた情報紙「茶メロカン」。これからも地域の多くの奥様を元気づけていくことでしょう。

### お知らせ

ハウジングリサーチでは、建築現場で残った木片のバザーを行っています。いただいたお金は赤い羽根共同募金に寄付をしています。

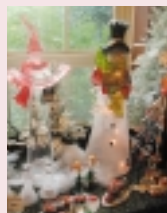
TEL:803-8555  
http://www.housing-r.co.jp/



## 和みスポット

### ハーブに囲まれた和みの空間 洋食亭・雑貨屋Joie

閑静な住宅街にたたずむヨーロッパカントリー調の建物。



店内の心温まる雑貨たち

ハーブガーデンに目を楽しませながら屋内に入ると、クリスマス用の雑貨が温かく迎えてくれました。イギリス人の友人からアンティーク雑貨も仕入れられているようで、所狭しと並べられた雑貨の中から、自分だけ

の宝物を探す気分になれる。オーナーの喜多さんにインテリアのアドバイスを求める方も多そうです。



庭で栽培しているハーブは料理に使われています

12月18日(月)にはクリスマスリースづくりの講習会があります。また、洋食亭では12月23日~25日の間はクリスマス特別メニューがあります。今年はJoieで落ち着いたクリスマスを楽しんでみてはいかがでしょうか。

営業時間:午前10時~午後10時(土日祝は午前9時~)  
定休日:水曜日  
問合せ先:TEL/FAX:847-1400  
URL:http://www.joie-intl.com/  
太白区高島1-1608



## この指とまれ! ボ・ラ・ン・テ・ィ・ア・情・報

### 情報紙「ばわわ」編集委員募集

年4回、太白の様々な情報をお伝えしている情報紙「ばわわ」。この情報紙の紙面と一緒に作っていただける方を募集しております。

■主な活動内容: 紙面に掲載する情報の提供、取材の同行や記事作成の協力・記事内容の校正など

■活動日程: 編集会議が月1回程度、取材の同行については随時。(ご参加いただける範囲で構いません)

■募集対象: 年齢性別不問(情報紙の作成に携わったことがない方も大歓迎です)

■連絡先: 太白区社会福祉協議会 担当/通木(つうき)  
TEL: 809-5550

### 話し相手(傾聴)ボランティア募集

高齢者(88歳・男性)の話し相手になっていただける方を募集しております。現在、高齢者福祉施設(太白区植田本町)に入所中のため、施設に来ていただいて色々な話が楽しくできたらと思っています。皆様からのご連絡をお待ちしております。

■日 時: 週1~2回 1時間程度

■募集対象: 年齢性別不問

■連絡先: 太白区社会福祉協議会 担当/通木(つうき)  
TEL: 809-5550

### ボランティアに関する疑問・質問はボランティアセンターまで!

「施設の行事でボランティアしていただける方はいないかな?」「ボランティアしてみたいけど、どんな活動があるのかな?」「ボランティアに関する講座や研修は何かあるのか知りたい。」「ボランティア保険のことについて知りたい。」

ボランティアセンターでは、ボランティアに関する様々な情報をお伝えするとともに、ボランティアしたい方と、してほしい方をつなぐコーディネート業務も行ってまいります。ご希望がありましたらお気軽にご連絡ください。

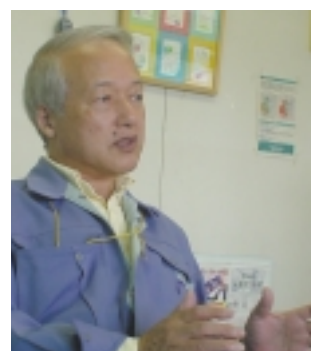
■問合せ先: 太白区社会福祉協議会 担当/通木(つうき)  
TEL: 809-5550 FAX: 809-5551

## メイドイン★ 太白

### 「お手伝い家族」として 高齢者をサポートするネットワーク NPO法人 御用利きと出前授業

「福祉とは家族でできないことに対する応援活動」をモットーに、高齢者の日々の困りごとの相談・解決に取り組んでいるのが「NPO法人 御用利きと出前授業」です。代表の光武さんがそれまで勤めていた民間企業を退職してこの活動を立ち上げたのが3年半ほど前。光武さん自身が障害のある子どもを育てた経験から、今度はお世話になった社会に自分が尽くしたいとの想いではじめられたそうです。

「御用利きと出前授業」では、サービスを受ける方もサービスを提供する方も会員登録をします。その際に発行される「安心・住マイルチケット」がサー



「まちづくりには30~40年の長期的視野が必要」と代表の光武さん

ビス料金(基本料金1時間1,500円)として支払われます。庭木の剪定・草取り、重い物の移動・処分、換気扇やエアコンの掃除、ペットの散歩から、水回りの修理や住宅改修、生活に関する様々な相談事まで、サービス内容は多岐に



活動が認められ、NHK(「ご近所の底力」)をはじめ多くのメディアで紹介されました

わたります。83名の活動会員が、これまで培った技術を活かし、920名の利用会員(主に高齢者や女性)の生活の悩み事に対応しています。

少子・高齢化、核家族化が進む現在の社会。昔であれば家族の若い世代が担っていたような作業を前に、途方に暮れる高齢者も少なくありません。こうした状況の中で、他人が手助けをする「お手伝い家族」のネットワークづくりが必要とされています。光武さんは、現場でのサポート活動のほかに、社会経験豊かな40、50代のミドル人材を活用した住みよいまちづくりのための人材育成も行っています。

「人づくりからシステムづくり、そしてまちづくりへと広がっていきたい」と将来のビジョンを語る光武さん。今後も同じ志の方々と活動を広げていけることでしょう。

### ..... お知らせ .....

#### 「御用利きと出前授業」では利用会員および活動会員を募集しています。

詳しくはお問い合わせください。

TEL:891-3114 FAX:891-3135

E-mail:goyoukiki@m2.dion.ne.jp

受付時間:午前8時~午後8時(年中無休)

太白区太白町大字野並字上大塚124-1

http://www.h3.dion.ne.jp/~npogoyou/



# 防災のヒント



**Q.** 私は古い木造住宅に住んでいますが、大地震に耐えられるのか心配です。

**A.** まずは耐震性を把握しましょう。条件によっては、名古屋市の無料耐震診断を受けられます。

**【無料耐震診断の対象住宅】**

- 昭和56年5月以前に着工した木造住宅であること
- 2階建て以下であること(プレハブ・ツーバイフォー工法は除く)
- 名古屋市内にあること

## 耐震診断問診表

- いままで大きな災害に見舞われたことはない。
- 増築はしていない。または建築確認など必要な手続きをして増築した。
- 傷んだところは無い。または、傷んだところはその都度補修している。
- 建物の1階の平面形状はどちらかという長方形に近い。
- 大きな吹き抜け(1辺の長さが4m以上)はない。
- 1階と2階の壁面が一致する。2階外壁の直下に1階の内壁または外壁がある。または、平屋建てである。
- 1階外壁の東西南北どの面にも壁があり、バランスがとれている。
- 屋根材はスレート・鉄板・銅板葺など比較的軽いものである。または、瓦など比較的重い屋根材であるが1階に壁が多い。
- 基礎は鉄筋コンクリートの布基礎またはべた基礎・杭基礎である。

該当項目が7つ以下の場合、早めに専門家に診断してもらいましょう。

※診断結果によっては、耐震改修工事費の助成制度があります。

**体験者Tさんの声**

耐震診断を受けられたきっかけは何ですか?

阪神・淡路大震災後、昭和56年以前に建てられた家屋の耐震性について大きく取り上げられるようになったからです。愛知県の耐震診断員養成講習会を受講した民間建築士が診断します

耐震診断というと大がかりな作業を想像してしまいがちですが…。各部屋の柱と壁、筋交いの有無を設計図を見ながら確認しました。その他、天井と床下の点検、外回りもチェックしました。天井にあがってもらったため、押入の中の物を移動したりしましたが、家具を移動させるなどの大がかりなものではありませんでした。

診断結果はいかがでしたか? また何か対策はとられましたか? 「一応安全」という結果でしたので、ひとまずは日頃からの点検に心がけています。

耐震診断を受けられてのご感想とメッセージをお願いします。名古屋市派遣の診断員さんですので安心できますし、耐震改修工事の方法、また工事費の補助や相談先なども教えてもらえます。まさに「備えあれば憂いなし」。被災者にならないよう、より多くの方にこの無料耐震診断を受けてほしいです。



愛知県の耐震診断員養成講習会を受講した民間建築士が診断します

**※耐震相談(無料)も行っています**

- 場所: 中区栄3-5-12森の地下街南四番街15番出入口横
  - 日時: 毎週火・土曜日 午後1時~5時(予約制)
  - 問合せ・予約先: 名古屋市住宅都市局建築指導課
- TEL:972-2921 FAX:972-4159



ただ今、活動内容や体制を見直し中! ネットワークを生かすために

ふれ愛ネット天白は、今年で10年目に入りました。第9号(平成18年6月発行)でお伝えしたように、現在、活動の体制や内容について、毎月1回話し合いの場を設けて、協議を続けています。

その中で、いくつか大切なことがみえてきました。一つは、このネットワークの目的の明確化です。会員からでも地域からでも「わかりやすいネットワーク」であること。もう一つは、「つながりをどのように作り、広げていくか」です。会員どうしは勿論のこと、会員が所属する施設や団体、会員以外の施設や団体・行政機関等のつながりが挙げられます。今後も話し合いを続けることによって、地域全体に広がりを持つような体制づくりができればと考えています。



ふれ愛ネット天白…障害者関係団体や福祉施設及びボランティア団体等が中心になって「誰もが安心して暮らすことのできる天白区」を目指して活動しているネットワークです。

**問合せ先**

「ふれ愛ネット天白」事務局(天白区社会福祉協議会内)  
TEL:809-5550

**答え 【野並橋からの風景】**

ここはどこ?



答えは「野並橋から野並交差点方面を見る風景」でした。古くから交通の要衝だった



野並は、現在も多くの人と車が行き交う、名古屋の大動脈です。

# サロン訪問

楽しくはつらつとした日々を!

【高齢者はつらつ長寿推進事業】

「一週間ぶりだね〜」「そうだね〜。元気にしとった?」こんな会話が会場から聞こえてきます。10月からスタートしたこの事業では、参加者どうしが単に交

流を楽しむだけでなく、健康体操や音楽教室、工作や手芸、頭の体操など、様々なレクリエーションへ参加することによって「介護予防」の理解を深めることができます。また、自分が得意なこと(折り紙や編み物など)を他の参加者に教えることもできます。一人ひとりが主役となってこの事業を進めることも出来るのです。参加者とともに創っていくこの事業に、あなたもぜひ参加してみませんか?

**◆申込方法:**

各会場定員(20名)がありますので、電話で空き状況を確認した上でお申込みください。

**◆対象となる方:**

市内在住の65歳以上の方

**◆参加期間:** 6ヶ月間

※現在、10月~3月までの第1期を募集しておりますので、今回お申込みいただく場合は、期間途中からの参加となります。

**◆参加費:**

1回100円(お茶・お菓子代程度)  
※材料費として別途費用のかかる場合があります。

**◆連絡先:**

天白区社会福祉協議会  
担当: 通木(つうき)・野崎  
TEL:809-5550 FAX:809-5551



平針南のハンドベル演奏。クリスマス気分も高まります

**会場のご案内**

	午前 (10時~12時)	午後 (1時30分~3時30分)
月曜日	表山公民館 (天白区八事石坂303)	植田南コミュニティセンター (天白区植田一丁目810)
水曜日	大坪コミュニティセンター (天白区大坪二丁目1901-3)	おおね荘 第3集会所 (天白区大板町 おおね荘内)
木曜日	平針南コミュニティセンター (天白区平針南一丁目113)	山根コミュニティセンター (天白区一ツ山3-24)
金曜日	野並小学校 特活室 (天白区野並一丁目60)	高坂荘第一集会所 (天白区高坂町93)

# 協賛広告募集!

天白を元気にする社協発情報紙「ばわわ」に協賛広告を載せてみませんか?

発行部数 約62,000部

天白区社会福祉協議会

TEL:(052)809-5550 FAX:(052)809-5551

E-mail tenpakuVC@nagoya-syakyoo.or.jp



ばわわ  
介護日記

ばわわ  
子育て日記

No. 11 子どもを片付け上手に育てる方法?!

全然片付けをしない我が娘。何か見あたらないと、「どこへ隠したの!!」と私を問いつめます。が、実際は単にガラクタに埋もれているだけ。簡単に片付けられるように、「何でもつつ込み箱」を用意したり、「片付けるタイミング」を知らせたりするものの、部屋は散乱したままです。新たな箱を用意しても同じこと。さらには自分で新しい片付け袋をつくって入れてしまい、「あれ?最初のつつ込み箱は?」と見てみるとカラっぽでした。モノは持ちすぎないことが大切。簡単にしまえる場所や入れ物を増やさないことも必要。「使ったモノはすぐに元の場所に戻す癖をつける」こと。使う場所で取り出しやすく、戻しやすいことが子どもにとって理想です。また、子どもが描いた絵や工作などの奇妙な宝物(ガラクタ?!)は、年々たまる一方です。だからといって、子どもがせっかく作ったモノを捨てるわけにもいきません。そこで写真に残してみてもいいでしょうか?場所も取らず、子どもの思い出もスマートに保管できますよ。(みとりん)



No. 3 居心地の良い住まいとは

認知症だった私の母は病院や施設に入るのを嫌がり、自宅で最期を迎えたいと願っていました。自分で食事はできたのですが、トイレへの付き添いが必要でした。私は仕事をしていたため、日中は妹に介護をお願いしました。仕事から帰ると、休む間もなく家族の夕食を準備。夜は数時間ごとにトイレへ付き添うという毎日が続き、心身ともに疲れ果てていました。にもかかわらず母からは、「私のお金が盗まれた」、「お経の本を隠された」などと疑われ、「毎日私が介護しているのに!」とイライラしてしまふこともあり。ある朝、母をトイレから部屋へ連れて帰る時、私に寄りかかってきたので、「もっと自分の力で歩いてね」と声をかけながら布団に寝かせると、すでに息を引き取っていました。その時は悲しいという感情と共に、母の希望だった自宅で看取ることができたという達成感もありました。本人にとって自宅が心地よい環境であるということ。それが何よりも重要であると気付くことができました。(京)



たくさんのご応募ありがとうございました!  
今回、その中から選りすぐりの7点を選ばせていただきました。

三世代 仲良くほほ笑む 宗栄え 宮田ゆり子さん

真はガクに 宗モガクガク ハナ路越え 益子さん

友よんで 住居賑わう 屋下がり おおねK・Fさん

今回のお題 「住居」

天白の 井戸端

ボカボカと 背中暖め 冬座敷 井上まさん

隠れたる 老人力の知恵は 我が住まい 守之助さん

帰省子の 語り言葉の 弾む部屋 野並T.さん

次回のお題 「学び」

皆さんからの投稿をお待ちしています。  
〒468-0015 天白区原1-301  
原ターミナルビル3階  
天白区社会福祉協議会「ばわわ」川柳係  
Fax: 809-5551

天白区共同募金 委員会からのお知らせ

歳末たすけあい募金 12月1日~31日

~みんなでささえあう、あったかい地域づくり~

歳末たすけあい運動は、支援を必要とする人たちが、地域で安心して暮らすことができることを願って行われる、市民の善意による運動です。みなさまのあたたかいご協力をお願いします。

連絡先 天白区共同募金委員会  
〒468-0015 天白区原一丁目301 原ターミナルビル3階  
天白区社会福祉協議会内  
TEL: 809-5550 FAX: 809-5551

※ 赤い羽根共同募金の使いみちなどの情報につきましては、ホームページ (<http://akaihane.or.jp>) をご覧ください。

善意の輪

次の方々より天白区社会福祉協議会にご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。天白区の地域福祉推進に有効に活用させていただきます。(平成18年8月1日から10月31日受付分受付順)

- 名古屋ヤクルト販売株式会社 様
- 八事東学区益踊り実行委員会 様
- NPO法人リョーピ社会貢献基金 様
- 伊藤 繁子 様
- 匿名希望 1件

この時期、「住」でイメージするものといったら何でしょうか? 私はズバリ、年末の大掃除です。この時ばかりは普段すれ違いがちな家族も一致団結しますね。年賀状の作成と併せて準備はお早めに。ゆったりとした気持ちで新年を迎えましょう。来年もばわわをお楽しみに!(J)

編集後記